

カウセリング演習Ⅰ			単位数	履修方法	配当年次
			1	S(演習)	2年以上
科目コード	FG3685	担当教員	末富 美貴ほか		

■スクーリングで学んでほしいこと

自分自身が人を援助する際に自分はどのような人間で、どのように人と接しているのか、自分の価値観や考え方に偏りはないかに気づき素直に認める自分があるかを認識してほしい所です。そのうえでカウセリングの基本とされる「傾聴」の姿勢と技術を実践的演習とグループワークにより体感し、表現できることができるよう練習を課します。

■到達目標

- 1) カウンセラーの基本的態度について体験的に理解を深め、相手に伝わる態度を修得する。
- 2) 傾聴基本的技法を体得し、適切に活用できる。
- 3) 自分の態度、聴き方の特徴についてロールプレイ、グループワーク等でフィードバックしながら、気づき、またそれを認めていくことができる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内 容
1	体験過程学習①	自己理解ワーク
2	体験過程学習②	グループワーク
3	体験過程学習③	傾聴基本的技法の演習
4	体験過程学習④	グループワーク
5	体験過程学習⑤	基本的態度と技法の応用演習
6	体験過程学習⑥	グループワーク
7	カウセリングプロセスの理解	DVD視聴等
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

ロールプレイを行いながら、グループでの体験過程学習を行います。またグループメンバーでフィードバックを行いカウセリングの基本的な学習を行います。

■スクーリング評価の基準

授業への参加態度 20% + スクーリング試験 80% (指定テキスト・配付物・自筆ノート持込可)

■スクーリング時の教科書

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）』日本産業カウンセラー協会、2013年 第3章

■履修登録条件

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録している方、または同時に履修登録する方のみ履修登録が可能です。

■スクーリング事前学習

テキスト第3章 傾聴の意義と技法 p. 39～p. 64 を一読していただくこと。

※「カウンセリングⅠ」「産業カウンセリングⅠ」「産業カウンセリングⅡ」スクーリングを受講していることが望ましい。

■スクーリング事後学習

傾聴の基本的態度を理解し技法に頼らず他者とのコミュニケーションで活かしていきましょう。